

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	1	基本事務事業名	野菜ソムリエ活動促進	事務事業名	キッズ野菜ソムリエ育成事業	公的関与	8	シート作成日	平成30年7月25日		
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐 賢二		シート作成者名	古山 佳彦			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)					3. 人が輝き合う阿波		実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)					(2) 食育の充実		☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし
		主要施策					(4) 野菜ソムリエの育成		☐ 2 非該当		根拠法令等	育てよう！阿波ベジキッズ育成委託業務実施要領		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内小学生										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	キッズ野菜ソムリエを育成し、農業体験を通して「食」の大切さや感謝の気持ちを学び、また各種イベントにおいて市内産野菜等のPRを行い、地域の豊かさを認識し理解を深めるなど、食育活動を通じた魅力ある住みやすいまちづくりを行います。									
				今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① キッズ野菜ソムリエ任命イベントの開催													
	② 「キッズ農園」を設置して、農産物の苗の植え付けや収穫体験の実施(平成29年度まで)													
	③ 野菜の販売活動や調理実習、あるいは各種イベントにおける本市産野菜等のPRの実施													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標				
	キッズ野菜ソムリエ育成人数				人		目標 100	20	20					
							実績 121	23						
							目標							
							実績							
							目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	2,347 千円		1,934 千円		1,665 千円							
		計(A)	2,347 千円		1,934 千円		1,665 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,492 千円	0.600 人	3,558 千円	0.600 人	3,483 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		5,839 千円		5,492 千円		5,148 千円							

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	食育活動や本市産野菜のPRが効果的に実施できています。 しかし、平成32年度以降はキッズ野菜ソムリエの人数が大きく減少することから、今までの事業内容を続けるか検討する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	徳島県で初めての取り組みで話題性もあり、事業目的の達成に向けて大変有効的な事業展開ができています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	目標設定に対して概ね達成できています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	コストは比較対象がなく不明です。野菜ソムリエ組織へ委託して実施していますが、事務ができないとのことで、実際の事務は農業振興課が行っています。業務形態を見直す必要があると考えます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	2	B	4	4	3	3	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止							
	当面の課題	育成した「キッズ野菜ソムリエ」を今後どのような形で野菜や果物のスペシャリストに育てるかが課題です。さらに、平成32年度以降はキッズ野菜ソムリエの人数が大きく減少することから、業務内容を見直す必要があります。また、野菜ソムリエ組織が市から独立することに伴い、直営事業に切り替えるなど、業務形態を見直す必要があると考えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	「キッズ野菜ソムリエ」の中からリーダー的存在となり得るキッズ野菜ソムリエを発見し、食育活動や大人の野菜ソムリエと共に活動を進めながら、野菜・果物のスペシャリストとして養成していく必要があります。事業内容の見直し、市が直営で事業を行うなどの対応が必要と考えます。					野菜ソムリエコミュニティ阿波や小学校と連携して、キッズ野菜ソムリエの育成に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	2	基本事務事業名	阿波市ブランド推進事業		事務事業名	阿波市ブランド推進事業		公的関与	8	シート作成日	平成30年7月31日			
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課			主務課長名	岩佐 賢二			シート作成者名	大内 美咲			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成		年	～	平成		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2) 地域特性を生かした農産物の生産				☐ 2 非該当		根拠法令等		活力ある阿波市農業振興事業費補助金交付要綱					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業関係者													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	県下一の農業地帯であることや生命のもととなる食料を生産する市民に欠かせない産業であることを基本的な考えとし、農業者が農業により生活できる条件を整えることと、市民の理解と消費に支えられた農業を進めることによって、本市農業の維持・発展を図ります。												
				今年度													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 重点プロジェクト推進会議の開催																
	② 阿波市ブランド推進事業の推進																
	③																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標							
	制度利用者数				人		目標	10	10								
							実績	9									
							目標										
							実績										
							目標										
							実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費			
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	平成29年度から数値目標を設定											
		県支出金	千円	千円	千円												
		地方債	千円	千円	千円												
		その他特定財源	千円	千円	千円												
		一般財源	千円	2,930 千円	8,700 千円												
		計(A)	0 千円	2,930 千円	8,700 千円												
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.700 人	4,151 千円	0.700 人	4,064 千円									
		臨時・嘱託職種	参与		参与		参与										
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	0.300 人	900 千円	0.300 人	900 千円									
	全体事業費(A+B)		0 千円	7,981 千円	13,664 千円												

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	基幹産業である農業の維持・発展を目指すため、他市町にはない本市独自の施策であり、必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	事業を継続実施することは、農業の維持発展に有効ですが、近年の農業環境の変化に対応できる補助金メニューづくりが必要です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒ いえない	☐ いえる		☒ いえない	☐ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	現在、まだ目標を達成できていませんが、事業を継続して実施することにより、農業の維持発展を図っていきます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	効率的な事業の実施に努めているが、補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、より効果的に実施する必要があります。	☐ 高い	☐ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	2	2	B	4	3	3	3	A
	今後の方向性	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持		☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持		☒ 方法改善	☐ 民間委託等		
		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止			
	当面の課題	近年の農業環境の変化に対応する阿波市独自の有効的な施策を迅速に展開する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進します。					計画的に第2次農業振興計画に沿って、事業を進めます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	3	基本事務事業名	阿波市のいいものの販売促進・6次化推進連携事業		事務事業名	阿波市のいいものの販売促進・6次化推進連携事業		公的関与	8	シート作成日	平成30年7月20日			
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課			主務課長名	岩佐 賢二			シート作成者名	藤本 誠也			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成 27 年 ~ 平成 31 年		☐ 期間設定なし					
		主要施策		(2) 地域特性を生かした農産物の生産				☐ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業者、加工品製造者													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	「応援します！阿波市で育ったいいものを」をスローガンとして、頑張る生産者の熱い思いが込められた認証品を広く市場、消費者へアピールすることで、ブランド商品の創出や更なる生産意欲の喚起と収益の増加を目指すとともに、“農業立市・阿波市”のイメージアップを図ります。												
				今年度													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 本市で生産される農産物や加工品の開発支援並びに認証																
	② 認証品のPR																
	③ 徳島県や他市町と連携して設置した「とくしま六次産業化推進連携協議会」と共にPR活動を実施																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標							
	特産品認証数				品		目標			20							
							実績	3	6								
	県外でのPR回数				回		目標		2	2							
							実績		0								
	農産物加工所設置数				箇所		目標		5	5							
						実績		3									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費			
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	千円		2,349 千円		3,828 千円										
		県支出金	千円		千円		千円										
		地方債	千円		千円		千円										
		その他特定財源	千円		千円		千円										
		一般財源	3,414 千円		2,454 千円		6,422 千円										
		計(A)	3,414 千円		4,803 千円		10,250 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,910 千円	0.500 人	2,965 千円	0.500 人	2,903 千円									
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円									
	全体事業費(A+B)		6,324 千円		7,768 千円		13,153 千円										

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	ブランド商品の創出や農業生産意欲の喚起、また阿波市のイメージアップに繋げるために必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	事業を継続的に実施することによって、ブランド商品の創出や農業生産意欲の喚起、また阿波市のイメージアップに繋がる有効な事業です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	現在、19商品が阿波市の特産品として認証され、その魅力を市内外にPRしています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	本事業の目的を効率的に達成するためには、斬新なPR方法など、他市町が実施している類似事業のノウハウを取り入れる必要があります。	☐ 高い	☐ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	3	3	A
	今後の方向性	☒ 拡大・充実		☐ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	特産認証品の拡大や今後における効果的PR方法を検討する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	認証制度の周知徹底を図り、特産認証品の拡大を推進するとともに、重点的にPRすることによって、ブランド商品の創出を図る必要があります。 県や他市町と共同で立ち上げた協議会と共に、市単独では難しいPR等を実施します。					PR活動活動を積極的に行い、“農業立市”阿波市のイメージアップを図ります。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	4	基本事務事業名	農山漁村未来創造事業	事務事業名	農山漁村未来創造事業	公的関与	6	シート作成日	平成30年7月20日			
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐 賢二		シート作成者名	古山 佳彦				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)			4. 豊かで活力ある阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)			(1) 農業の振興と森林の保全			☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策			(2) 地域特性を生かした農産物の生産			☐ 2 非該当		根拠法令等		徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱・阿波市農林水産業振興事業費補助金交付要綱など			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業協同組合、安定的かつ持続的経営体が主体となり組織する団体、農業生産法人等											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ブランド品目の生産力を維持、増強する取り組みや魅力を活かす取り組み等を支援し、地域農業の発展振興を図ります。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 地域農林水産業の持続的発展と農山漁村の活力創出に向けて、地域が主体となって様々な課題を解決するために行う取組を支援します。														
	② ブランド産地の生産力を高め、消費感度の高い産地づくりを加速させるため、必要な機械、施設等の整備を支援します。														
	③ 地産地消の推進のため、地域の農畜水産物を学校給食、病院食等へ供給する体制整備の取組を支援します。														
	④ 食料自給率の向上に向け、「供給力向上」をテーマとした住民自らの提案に基づいた地域提案型事業を総合県民局等において募集し、支援します。														
	⑤ 農山漁村の資源を活用した農林水産業の6次産業化を目指し、農林水産業の収益力の向上、雇用の創出や地域の活性化に必要な機械設備の整備を支援します。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標					
	制度利用者数				人	目標		8		8					
						実績		3							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			平成29年度から数値目標を設定	
		県支出金	15,939		千円	4,682		千円	25,013		千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	5,927		千円	1,324		千円	868		千円				
		計(A)	21,866		千円	6,006		千円	25,881		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,492	千円	0.600 人	3,558	千円	0.600 人	3,483	千円				
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円				
	全体事業費(A+B)		25,358		千円	9,564		千円	29,364		千円				

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	ブランド品目の生産力を維持・増強する取組や、農山村の魅力を活かす取組を支援する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	必要な機械や施設の整備により作業の効率化と、コスト削減が図れます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	ブランド品目の生産力を維持・増強することが出来ます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☒ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	必要な機械や施設の整備等により作業の効率化が図れます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	2	4	A	4	4	2	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持		☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	・農業を取り巻く環境が変わりゆく中、農業者のニーズに応じた取組が迅速にできるよう支援する必要があります。 ・ブランド品目の生産力を維持、増強する取り組みや、農山村の魅力を活かす取り組みを支援する必要があります。 ・県の制度変更により、事務を迅速に行うことが難しくなっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	ブランド品目の生産力を維持、増強する取り組みなどを支援します。					実施計画に沿って、事業を進めます。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	5	基本事務事業名	環境保全型農業推進事業	事務事業名	環境保全型農業直接支払事業	公的関与	6	シート作成日	平成30年7月20日		
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐 賢二		シート作成者名	藤本 誠也			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(2) 地域特性を生かした農産物の生産				☐ 2 非該当		根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	環境保全に効果の高い営農活動を支援することにより、地球温暖化防止や生物多様性の保全に貢献します。									
				今年度	有機農業等環境への負荷が軽い農業に取り組む農業者団体に対し交付金を交付し、継続して事業を実施します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 有機農業の取組み(化学肥料・化学合成農薬を使用しない取組)													
	② カバークロップ(緑肥)の作付け													
	③ 冬期湛水の実施													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標				
	取組面積				ha		目標	16	18					
							実績	19						
							目標							
							実績							
							目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	418 千円		677 千円		850 千円		平成29年度から数値目標を設定					
		県支出金	209 千円		338 千円		425 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	209 千円		338 千円		425 千円							
		計(A)	836 千円		1,353 千円		1,700 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,910 千円	0.500 人	2,965 千円	0.500 人	2,903 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		3,746 千円		4,318 千円		4,603 千円							

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	農産物の安全な生産環境を保全する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	農産物に対して強い安全性が求められている中で、化学肥料や農薬の誤使用による生産環境の破壊を防ぐ環境保全型農業を実施することで安全・安心な農産物を消費者に供給できる農家を支援します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	各申請者共に5ヶ年の計画の中で環境保全型農業に取組み、毎年取組面積は増加しており、目標を概ね達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	国の要綱・要領に従い事業を実施していますが、補助金の申請段階において二重に事務作業が必要になっているなど事務手続きが複雑な面が存在しています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等	
	当面の課題	平成30年度の要綱改正において、GAPの取組みが要件化され交付要件が厳格になったことから、環境保全型農業の取組面積の減少が懸念されます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	環境保全型農業の重要性を認識していただくため、PR等を推進します。					実施計画に沿って、事業を進めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	6	基本事務事業名	農業法人組織化等促進支援事業	事務事業名	農業法人組織化等促進支援事業	公的関与	8	シート作成日	平成30年7月31日		
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課		主務課長名	岩佐 賢二		シート作成者名	大内 美咲		
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(2) 地域特性を生かした農産物の生産				☐ 2 非該当		根拠法令等	活力ある阿波市農業振興事業費補助金交付要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業関係者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	農業設備等のコストを削減し、農業経営を持続又改善できる体制を確立するため、農業経営の法人化等の取組を支援する。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 農業経営の法人化等の取組を支援する。													
	② 農業法人協会の取組を支援する。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標				
	農業法人化等数				数	目標		2		2				
						実績		0						
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費
			平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度から数値目標を設定					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	千円		200 千円		400 千円							
		計(A)	0 千円		200 千円		400 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.100 人	593 千円	0.100 人	581 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		0 千円		793 千円		981 千円							

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	基幹産業である農業の維持・発展を目指すため、他市町にはない本市独自の施策であり、必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☒ いる	☐ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	農業を法人化することによる各種メリットを受けるため、事業を継続実施することは、農業の維持発展に有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	現在、まだ目標を達成できていませんが、事業を継続して実施することにより、農業の維持発展を図っていきます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☒ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	効率的な事業の実施に努めているが、補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、より効果的に実施する必要があります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	2	2	B	4	4	2	2	B
	今後の方向性	☒ 拡大・充実		☐ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実	☐ 現状維持	☒ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	近年の農業環境の変化に対応する阿波市独自の有効的な施策を迅速に展開する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進します。					農業者の担い手不足・高齢化といった問題を解決するための有効な手段の一つであります。今後とも、本市農業が継続・発展できるよう法人化等を推進します。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	7	基本事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	公的関与	2	シート作成日	平成30年7月19日			
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐賢二		シート作成者名	住友宏好				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 農用地の保全				☐ 2 非該当		根拠法令等	中山間地域等直接支払交付金事業				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		集落協定により5年間の農業生産活動等を行うこととされた農地											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄の発生を防止し、農用地の多面的機能の確保を図ります。											
			今年度	集落協定に基づく多面的機能の増進や体制整備に向けた取り組みに対し交付金を交付し、継続して事業を推進します。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 耕作放棄防止等の活動														
	② 水路・農道等の清掃及び管理補修														
	③ 多面的機能の増進(景観作物の作付けや周辺林地の下草刈り、ビオトープの確保など)														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標					
	協定参加者				戸	目標	637								
						実績	637								
	事業対象面積				ha	目標		250	250						
						実績		257							
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	
			平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度から数値目標を設定						
		県支出金	28,373 千円		28,387 千円		28,702 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	11,912 千円		11,927 千円		12,032 千円								
		計(A)	40,285 千円		40,314 千円		40,734 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.800 人	4,655 千円	0.500 人	2,965 千円	0.500 人	2,903 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		44,940 千円		43,279 千円		43,637 千円								

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	耕作放棄発生防止等の活動により、多面的機能の増進を図ります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	上流部の水源涵養、洪水防止等の多面的機能により、下流域の住民の生命・財産と豊かな暮らしが守られています。また、事業を継続することにより成果の向上が見込まれます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	平地に比べ条件不利な中山間地の耕作放棄の発生等を防止するため、集落協定により5年間継続して多面的機能の増進活動等を実施する政策です。集落協定に定められた事項については、概ね達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	事業の実施は、国が定めた要綱・要領に従って行っています。また、独自のシステムで管理するなど、事務コストの削減を図っています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等					
	当面の課題	中山間地域の高齢化や担い手の減少が進む中で、耕作放棄地の増加など農用地の維持管理が困難な状況になり、多面的機能の発揮に支障が生じることが懸念されています。今後も農業・農村が有する多面的機能を適切に発揮させるとともに、担い手への農地集積を後押ししていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	現状の地域における集落協定による取り組みを継続するとともに、農地が農地として維持され、将来にわたって多面的機能が発揮されることを確保していきます。					適正に農地の保全管理などが行われるよう助言等に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	8	基本事務事業名	人・農地プラン事業		事務事業名	人・農地プラン事業		公的関与	2	シート作成日	平成30年7月27日			
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課			主務課長名	岩佐 賢二			シート作成者名	林 誠			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成		年	～	平成		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(4) 農業生産基盤の整備				☐ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内農業者等													
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	地域農業の中心となる経営体(担い手)の確保、またその経営体への農地集積等を行うため、それぞれの集落・地域における徹底的な話し合いにより「人・農地プラン」を作成し(見直し)、人と農地の問題を一体的に解決していきます。												
				今年度	農地集積の受け手となる「地域の中心となる経営体」数の増加を図ります。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 地域の中心となる経営体(担い手)等の登録受付																
	② 地域農業者等の話し合い(地域座談会)の開催																
	③ 阿波市人・農地プラン検討会の開催(プランの作成・更新を協議)																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標							
	中心となる経営体数		地域農業の担い手の確保 が喫緊の課題であるため		経営体	目標	—	300	305								
						実績	295	318									
						目標											
						実績											
						目標											
						実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費			
			平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度から数値目標を設定								
		県支出金	千円		千円		千円										
		地方債	千円		千円		千円										
		その他特定財源	千円		千円		千円										
		一般財源	千円		38 千円		473 千円										
		計(A)	0 千円		38 千円		473 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.400 人	2,372 千円	0.400 人	2,322 千円									
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円									
	全体事業費(A+B)		0 千円		2,410 千円		2,795 千円										

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	国等が行う事業の実施要件に、本事業(プラン)の適切性等が問われるなど、必要性は高くなっていますが、その手段・方法については改善の余地があると思われる。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	本事業の主は、「適切なプランの作成」であり、本市の農業振興上、必要不可欠です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	目標は十分達成していますが、今後の高齢化等による担い手不足を鑑み、長期的な視点で担い手の確保・育成を図る必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	事業に係るコストは高くありませんが、プランの地区割りを見直すと同時に、職員主体から地域農業者が主体となる取り組みに転換するなど、効率化を図る余地があります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	4	2	A	4	4	4	3	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☐ 現状維持	☒ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	今後、農家の高齢化による担い手不足やこれに伴う耕作放棄地の増加などが予想される中で、毎年度の適切なプランの見直しの前提となる地域座談会への参加者を如何に確保するか、またそのために座談会のあり方を改善していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	平成30年度にプランの地区割りを現在の4地区から10地区に細分化し、各地区の実情に合わせたプランを作成します。その過程において、地域の中心となる経営体(担い手)の選定・確保と農地集積に繋げるために、農地中間管理事業を活用して農地の出し手となる者とその農地の発掘を行います。また、地域座談会のあり方を見直し、参加者確保に努めます。					農業の担い手確保や農地の集積・集約化の推進、耕作放棄地の未然防止のためにも実施計画に沿って、事業を進めます。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	9	基本事務事業名	新規就農コーディネート事業	事務事業名	新規就農コーディネート事業	公的関与	8	シート作成日	平成30年7月31日			
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐賢二		シート作成者名	住友宏好				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5) 多様な担い手の育成				☐ 2 非該当		根拠法令等	阿波市新規就農安定経営支援事業補助金交付要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に住所または事業所を有する農業次世代人材投資事業の承認または青年等就農計画の認定を受けている新規就農者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	深刻化する担い手不足の解消を図るため、経営初期の安定経営を支援し、新たな人の流れを生みだします。										
				今年度	多額な初期投資を必要とする園芸用施設等の整備や農業用機械の導入費に対し補助金を交付し、継続して事業を推進します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 園芸用施設等の整備補助														
	② 農業用機械の導入費補助														
	③ 農用地等の取得費補助														
	④ 農用地・園芸用施設の賃借料補助														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標					
	制度利用者数				人		目標	6	6						
							実績	2							
							目標								
							実績								
							目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度からの新規事業。						
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	千円		2,000 千円		3,300 千円								
		計(A)	0 千円		2,000 千円		3,300 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.100 人	593 千円	0.200 人	1,161 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		0 千円		2,593 千円		4,461 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	新規就農者の初期の経営安定を図るためには必要不可欠なものです、事業採択要件の緩和などが必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	農業用機械の導入や園芸用施設等の整備により経営初期の安定が図れます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	将来的には、深刻化する担い手不足の解消に繋がると考えられます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	長期的な視点では、決して事業に係るコストは高くないと考えます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	3	4	A	4	4	3	3	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	・中古のハウスや農業用機械導入費は事業採択要件である公的資金やローンの対象とならないため、事業を活用できません。 ・財源が市単独で補助上限が100万円のため、予算の範囲内での採択枠の確保が必要となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	採択要件の緩和を検討しながら、上限100万円の見直しを行い、採択者枠の拡大と確保を図ります。					新規就農者の経営を早期に安定させるため、事業を推進します。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	10	基本事務事業名	集落営農組織等推進事業	事務事業名	集落営農組織等推進事業	公的関与	8	シート作成日	平成30年7月31日		
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐 賢二		シート作成者名	大内 美咲			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(5) 多様な担い手の育成				☐ 2 非該当		根拠法令等	活力ある阿波市農業振興事業費補助金交付要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業関係者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	農業設備等のコストを削減し、農業経営を持続又改善できる体制を確立するため、集落営農の組織化を目指す取組を支援する。									
				今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 集落営農の組織化を目指す取組を支援する。													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標				
	集落営農組織数				数	目標		1	1	3				
						実績		0						
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費
			平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度から数値目標を設定					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	千円		千円		200 千円							
		計(A)	0 千円		0 千円		200 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.100 人	593 千円	0.100 人	581 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		0 千円		593 千円		781 千円							

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	基幹産業である農業の維持・発展を目指すため、他市町にはない本市独自の施策であります。しかし、当該事業は平成23年度を最後に申請がないため、ニーズが減少しているものと考えます。	☐ 少ない	☒ 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☒ いる	☐ いない		☐ いる	☒ いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	後継者不足の農家が増える中、事業を継続実施することは、農業の維持発展に有効です。	☐ いえない	☒ いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	現在、まだ目標を達成できていませんが、事業を継続して実施することにより、農業の維持発展を図っていきます。	☐ 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☒ あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	効率的な事業の実施に努めているが、補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、より効果的に実施する必要があります。	☐ 高い	☐ 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	2	2	B	4	4	2	2	B
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☐ 現状維持	☒ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☐ 現状維持	☒ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	近年の農業環境の変化に対応する阿波市独自の有効的な施策を迅速に展開する必要があります。また集落営農に関しては、取組が減少傾向にあることから、縮小するかどうか検討する必要があると思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進します。					農業者の担い手不足・高齢化といった問題を解決するための有効な手段の一つであります。今後とも、本市農業が継続・発展できるよう集落営農を推進します。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	11	基本事務事業名	野菜ソムリエ活動促進	事務事業名	野菜ソムリエ活動促進	公的関与	8	シート作成日	平成30年7月30日		
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐 賢二		シート作成者名	古山 佳彦			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(6) 交流と協働の促進				☐ 2 非該当		根拠法令等	阿波ベジ活性化魅力発信事業費補助金交付要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		野菜ソムリエ組織										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	子供から大人まで幅広い年齢層に阿波市産の野菜や果物の魅力を情報発信できる団体等を支援することにより、農産物のブランド化や地産地消、食育等の推進を図ります。										
			今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 野菜ソムリエ組織に必要な会議費、研修費、事務費等に係る費用を支援します。													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標				
	PR活動回数				回		目標	10	10					
							実績	17						
							目標							
							実績							
							目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費
			平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度から数値目標を設定					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	千円		200 千円		200 千円							
		計(A)	0 千円		200 千円		200 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.500 人	2,965 千円	0.500 人	2,903 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		0 千円		3,165 千円		3,103 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価			二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	これからの農業振興は、農業者だけでなく、市民や民間団体、行政などの連携が求められているため、必要な事業と考えます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	野菜ソムリエを通じて、市内産の野菜や果物の魅力を情報発信することができ、有効と考えます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	野菜ソムリエ組織において、市内産の野菜・果物の魅力を情報発信する様々な活動が進められています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	野菜ソムリエが進める活動費の一部を負担することによって、効率的な農業振興が図られています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	3	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等				☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等					
		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止				☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	野菜ソムリエ組織のレベルアップが必要です。 なお、野菜ソムリエコミュニティ阿波の事務局は、平成30年度より、農業振興課から野菜ソムリエが行うことになっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	今後、野菜、果物の魅力を情報発信してもらうための新たな事業計画が必要です。					野菜ソムリエコミュニティ阿波と連携し、情報発信に努めます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	23	—	12	基本事務事業名	産業観光活性化	事務事業名	産業観光活性化事業	公的関与	8	シート作成日	平成30年7月30日		
	部局名	産業経済部			課名	農業振興課	主務課長名	岩佐 賢二	シート作成者名	古山 佳彦				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3) 観光の振興				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(6) 農業や歴史・文化等を生かした観光の展開				☐ 2 非該当		根拠法令等	阿波市農林水産業振興事業費補助金			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市観光協会										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	地域の資源である農産物を核とした地域興しを支援し、本市の農業・商業、そして観光の発展を一体的に推し進めます。									
				今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 農業・商業、そして観光の発展を一体的に推し進めるため、地域の資源である「食」を核とした地域振興の取り組みを支援します。													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標				
	観光入込客数				万人		目標	100	100					
							実績	81.3						
							目標							
							実績							
							目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費
			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成29年度から設定 (平成28年度までは23-1野菜ソムリエ活動促進と併せて入力していた)					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	千円		4,000 千円		4,000 千円							
		計(A)	0 千円		4,000 千円		4,000 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.100 人	593 千円	0.100 人	581 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		0 千円		4,593 千円		4,581 千円							

阿波市全庁評価シート 平成29年度実施事業対象

		チェック項目		一次評価			二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	これからの農業振興は、農業者だけでなく、市民や民間団体、行政などの連携が求められているため、必要な事業と考えます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	観光協会を通じて、阿波市の農業や市内産の野菜・果物の魅力を情報発信することができ、有効と考えます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	観光協会において、阿波市の農業や市内産の野菜・果物の魅力を情報発信する様々な活動が進められています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	観光協会が進める活動費の一部を負担することによって、効率的な農業振興・PRが図られています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	3	A	4	4	3	2	B
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持		☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持		☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止			☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止		
	当面の課題	観光協会と連携し、更なる阿波市の魅力PRに務めるべきと考えています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進します。					実施計画に沿って、事業を進めます。 新たな実施手段等の検討します。					
委員会指摘事項											